


報告

高校生天体観測ネットワーク

(Astro-HS) 関東地区交流会

直井 雅文 (Astro-HS 運営委員 埼玉県立浦和高等学校)

1. はじめに

今年の7月22日には、日本全国で日食が見られ、一部の地域では、皆既日食になりました。これは、日本では46年ぶりのことでした。そこで、今年度の高校生天体観測ネットワークの観測テーマは「日食観測」にしました。

運営委員を中心に作成した観測ガイドもできたところで、参加グループの観測に向けた準備を進める機会とするべく、関東地区の交流会を企画しました。

日程は2009年6月28日(日)で、会場は開成学園の中学・物理地学実験室でした。学期末のテストが近く、高校生にとっては参加しやすい時期ではなかったかもしれませんが、34名もの参加がありました。その中で、高校生は8グループ(生徒22名、顧問8名)、一般の参加者は4名でした(講師含む)。

2. 内容

日食の魅力を感じる講演、日食観測についての学習会、そして参加グループ同士の交流を柱として、次のような内容で行いました。

2.1 日程

2009年6月28日(日) 10:00~13:10

2.2 会場

開成学園の中学・物理地学実験室

2.3 プログラム

9:30~ 受付

9:55~10:00 事務連絡

10:00~11:05 講演「日食の魅力」

石井 馨 氏

(日食情報センター)

11:05~11:15 休憩

11:15~11:45 参加グループによる交流

11:45~12:30 日食観測についての学習会

(1) 皆既日食の観測法

石川 勝也 氏

(開成学園高等学校)

(2) 日食の電波観測法

篠原 秀雄 氏

(埼玉県立蕨高等学校)

(3) 部分日食の観測法

坂江 隆志 氏

(埼玉県立浦和西高等学校)

12:30~12:35 事務連絡

12:35~12:40 休憩

12:40~13:10 観測機器の紹介

2.4 参加グループ

(1) 群馬県立桐生高等学校 地学部

(2) 埼玉県立浦和高等学校 地学部

(3) 開成学園高等学校 天文気象部

(4) 埼玉県立浦和西高等学校 地学部

(5) 巣鴨中学高等学校 地学班

(6) 埼玉県立蕨高等学校 地学部

(7) 埼玉県立松伏高等学校 自然科学部

(顧問のみ)

(8) 埼玉県立浦和第一女子高等学校

地学部 (顧問のみ)

3. 交流会の様子

まず、日食情報センターの石井 馨氏から「日食の魅力」についての講演をしていただきました。これまで観測された日食の中でもとても珍しいという金環・皆既日食で見られた全周ベイリービーズの映像は、自然の奇跡を見るようでした。また、海外で観測するこ

との苦労話もとても興味深いものでした。石井氏にとって日食とは「邂逅（かいこう）」だそうです。この意味は、「思いがけなく出会うこと」です。私たちにとっても、今度の日食で何に出会えるのか楽しみになりました。



図1 石井氏（日食情報センター）による「日食の魅力」の講演の様子

続いて、参加グループによる交流です。高校生の参加があった6グループから、日食観測の予定や普段の活動報告がありました。報告に対する突っ込みの質問もあり、短時間ではありましたが、お互いを知るよい機会になったと思います。



図2 参加グループによる交流の様子
開成学園高等学校天文気象部の皆さん

そして、今年度の観測ガイドを執筆した3名の運営委員から、日食観測の様々な方法についての説明が行われました。この日は、残念ながら曇天であったため、観測実習はできませんでしたが、望遠鏡やカメラなどの観測機器の扱い方などについて、実物を使って説明をしていただきました。



図3 日食観測の学習会の様子
篠原氏（埼玉県立蕨高等学校）による「日食の電波観測法」の説明

4. おわりに

全体で3時間という短時間ではありましたが、間もなくやってくる日食に向け、具体的な準備の参考になる交流会でした。